

テーマ:学校での出張販売

カテゴリー:④連携(地域・多職種連携)

学校概要:堺看護専門学校 看護第2学科

大阪府堺市北区新金岡町5丁10番1号 2年課程(定時制) 1学年定員数:40名 就業年限:3年

<なごみ福祉会の出張販売は大盛況です!>

昨年10月より月に1回、なごみ福祉会就労継続支援B型事業所「You・Iハウス」の職員と通所者の方が、昼休みの時間を活用して、学校の玄関ホールで出張販売を行っています。販売しているものは、焼き菓子・漬物など、障がいのある方々が社会参加や就労という目的をもって制作した『授産製品』です。毎回、昼休みの途中には完売する時があるほどの大盛況です。



経緯	「You・Iハウス」は精神看護学の実習施設のひとつです。実習では、学生も通所者の方と一緒に、焼き菓子や漬物を作りながら、地域の中での事業所の役割を学んでいます。コロナ禍で販売先が縮小し、新たな販売先のひとつとして学校に依頼があり、出張販売が開始になりました。
目的	販売による営利目的だけでなく、「精神障害を有する方の社会参加の理解と交流・支援ができる」という目的で始めました。
学生の取組み	実習に行っている3年生を中心に、玄関ホールにポスターを作成し、どのようなものが販売されるのか、販売日はいつなのかを宣伝してもらいました。また、当日は2~3名の学生がボランティアとして販売のお手伝いを、通所者の方と相談しながら行っています。
販売日の様子	本校は看護第1学科(3年課程)の学生もいますので、合計すると240人ほどの学生が在籍しています。販売日には購入に列を作ることも多くみられます。最近では小銭を持たない学生のために電子マネーも導入してくれました。



完売になったらうれしいし、作り甲斐もある。いっぱい買ってくれるので、びっくりする。学生を見てると希望に満ち溢れていて、パワーを感じる。(通所者の方)

販売日が楽しみです。自分が漬けた大根が売れるのはうれしい。(学生)



学生さんと関わってから、笑顔が増え元気になっていく通所者の方もいます。自分の作ったものが売れたり、褒められたりすることで、社会で役に立っている、人に必要とされているという実感を得る機会になり、地域に出ることの大切さを改めて実感しています。(なごみ福祉会 理事長)

この販売を通して、『地域共生社会』の理解と貢献につながればと思っています。今後は地域住民にも利用してもらえよう学校を開放し、地域と一緒に学ぶ機会を増やしていきたいです。